拓水

4月号
No. 271

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会
会長理事　山田岸松
TEL　681－6954～7
一部　10円

県水産予算伸び率
一般会計で128%

昭和五十四年度
水産関係予算きまる

昭和54年当初の水産予算（人件費を除く）は、一般会計で48億3千5百万円（水産課－14億6千9百万円、漁港課－33億6千6百万円）特別会計（制度金融の利子補給費）で3億3千7百万円となりました。

一般会計が53年度当初予算37億7千百万円に比べ、大きな額となったのは公共事業の促進による県営漁港建設事業費及び市町営漁港建設事業等助成費の大幅な伸びによるものであります。

この予算の伸び率は、一般会計で128%であり、県予算の110%を大きく上回っております。

水産課

一、栽培漁業（一億二千百万円）

県では、県立水産試験場で生産したクルマエビ、ガザミに加え、瀬戸内海栽培漁業協会から配布されるマダイ等を中間育成して、沿岸適地に放流しています。

これら放流魚種の漁獲量は大きく伸び、漁業者の栽培漁業に対する関心が高くなっていますので、54年度から三カ年計画で、明石市二見町神の埋立地に県営栽培漁業センターの建設を進めてまいります。

二、水産金融

制度資金の融資枠として漁業近代化資金30億円、前年度より2億5千万円増、振興資金3億5千万円、前年度より5千万円増を設定しました。

このように漁業近代化資金等の融資枠が増加され、漁業者の資金需要にほぼ応えられるようになりましたが、これに加え農林漁業金融公庫資金による構造改善資金等をできるだけ活用し、漁業者の要望に応えてまいりたいと考えております。また、本年度から設定される無利子の漁業改善資金については、国の制度が整ってから実施しますので、利用についてよろしくお願いします。

なお、兵庫県漁連の事業活動を促進するため1億円の貸付金を前年度に続き設定いたしました。

三、沿岸漁場の整備開発（四億八百万円）

沿岸漁場の生産力増進をはかるため、浅海域では稚魚育成漁場造成事業「藻場」づくりを積極的に行います。

神合生産漁場では、並型・大型魚礁を計画的に設置すると共に、淡路島西部海域に大規模増殖場開発事業（事業費約6億円、四カ年計画）を、但馬海域に人工礁漁場造成事業（事業費約6億円、四カ年計画）を、本年度から着手します。

四、試験研究

水産試験場では、各種の試験研究を実施してまいりますが、日本海におけるズワイガニ資源対策として調査（180万円）二百カイリ内資源調査（444万円）海草による栄養塩類の吸着試験（1、800万円）を実施するほか、漁業調査船白鳥丸の代船を建造いたします。

五、水産公害対策（一億二百万円）

赤潮、PCB、温排水対策及び水産公害調査指導を重点的に行います。また、資源を育て、漁業経営を安定させるため、海域の漁業障害物（ごみ、有害生物）を除去する漁場クリンアップ試験事業を実施します。

漁港課

一、漁港の整備（三一億二百万円）

第六次漁港整備計画の第三年次を迎えます。県の当初予算は別表の通りでありますが、四月早々、国の予算内示を受けており、県営二八億八、七一三九千円、市町営一五億百万円となっております。

県の当初予算との差額については補正を考えております。

なお、市町営漁港については、市町単位に地域を指定し、その地域ごとの水産業の振興計画を樹立し、この計画に基づいて事業が実施される新沿岸漁業構造改善事業が発足することになりました。

二、漁業近代化施設の整備（二億五、四〇〇万円）

本年度からは、市町単位に地域を指定し、その地域ごとの水産業の振興計画を樹立し、この計画に基づいて事業が実施される新沿岸漁業構造改善事業が発足することになりました。

当面県下六地域（六市町）を指定し、調査事業を実施、うち五地域については、本年度後半から施設設置事業の着手を予定しております。

また、但馬地域の沿岸漁業構造改善補足整備事業は本年度から、瀬戸内海地域における瀬戸内海地域漁業対策事業及び架橋建設地域漁業対策事業は昨年度に引続き事業を実施します。

三、水産物流通加工センター形成事業（四、四〇万円）

50年度から着手した香住地域、一年後発の明石地域のこの事業も、53年度までにそれぞれ卸売場施設、冷蔵施設等の整備が進められましたが54年度は、これら事業の補完によりさらに機能的なセンター形成を図るため、55年度から実施する水産物流通加工センター形成補足整備事業の事前調査を両地域で行います。

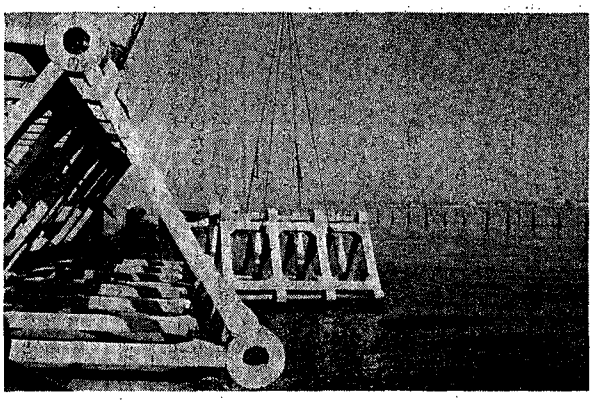
第六次漁港計画の第三次年

昭和54年度水産関係予算一覧表

豊かな漁業生産の展望

- 水産資源の保護培養 570,095千円
  - 栽培漁業センターの建設
  - 沿岸漁場の整備開発
  - 稚魚の放流、保護水面の管理
- 漁業生産基盤の整備 3,238,754千円
  - 漁業構造改善事業の実施
  - 漁港の建設、整備
- 漁業経営組織の育成 130,460千円
  - 水産業協同組合の育成指導
  - 県漁連の活動促進資金の融資
  - 漁業後継者の育成普及事業充実
- 公害、海難事故防止対策の充実 115,377千円
  - 水産公害調査、指導の実施
  - 赤潮、PCB、水銀汚染、温排水等対策
  - 漁場クリンアップ試験事業実施
- 水産金融の確立 336,940千円
  - 漁業近代化資金等利子補給の実施
- 漁業調整の確立 28,534千円
  - 海区漁業調整委員会等の運営
  - 漁業調整、漁船事務、漁業取締船の運営
- 遊魚、架橋等産業と漁業の調和 157,286千円
  - 内水面資源の増強、同漁業振興対策
  - 架橋関連地域等漁業対策事業の実施
  - 遊魚対策振興事業の実施
- 試験研究施設の整備と技術の開発 257,481千円
  - 漁業調査船の建造
  - 試験場の整備、試験研究調査の実施

合計　48億3千5百万円



水協法施行30周年記念
兵庫県漁協大会
6・22

本年は、水産業協同組合法施行30周年の記念すべき年にあたり、県下漁協系統関係者が一堂に会して水協法施行30周年を記念した兵庫県漁協大会が開催されます。

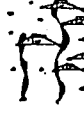
一、主催
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県信用漁業協同組合連合会

一、主旨
水協法施行30周年にあたり、30年間にわたる漁協系統運動の成果に対する正しい評価と反省、さらに現状の認識と新しい時代への展望をもとに「自立と連帯を求めて」輝しい未来への飛躍と繁栄を思考する。

一、日時
昭和五十四年六月二十二日（金）午後一時～三時

一、場所
明石市民会館・中ホール

一、大会次第
開会
大会運営委員長挨拶
来賓祝辞
表彰式
議事
万才三唱
閉会



昭和54年度系統関係団体通常総会等日程

4月28日	兵庫県内海漁船保険組合
5月7日	但馬漁船保険組合
16日	兵庫県漁業信用基金協会
	兵庫県信用漁業協同組合連合会
17日	兵庫県漁業共済組合
	兵庫県漁業操業安全協会
18日	兵庫県水産公害対策基金
22日	兵庫県漁業協同組合連合会

新しい陣容を迎えて

沿岸漁業の見直しと漁場開発

県参事兼水産課長　小黒　武

思い起せば昭和四十五年の皆様方の温い御心情がひしひしと感じられ、やはり長年お世話になった水産課を離れて、全く場違い農業畑を歩いて八カ年、試行錯誤を重ねながらもまがりなりにも職責を果して参りました。元々水産しか分らなかった私にとってまことに剣しい毎日でした。しかしそれはそれなりに私の一生を通じての貴重な体験の積み重ねで大きなプラスになったとはいうまでもありませんが、反面水産を離れてみて、はじめて水産業界の皆様方の温い御心情がひしひしと感じられ、やはり私のふるさとは水産であるということが常に頭を離れませんでした。

このたび、はからずも四月一日付をもって水産課長を拝命し、もう二度と水産に返していただけることはないと考えていただけに、その喜びはひとしほで口ではいい表わせないものを感じる次第です。

再び水産業界の皆さん方とお仕事が出来ると思いますと、その喜びと同時に重大な責任を感じ身がひきしまる思いが致します。

私が水産を離れている間に水産界の情勢も随分変ったように思います。

まず二百海理問題を契機とする我が国水産業に対する大きな圧迫、それに対応する沿岸漁業の見直しと大々的な漁場開発計画は未だかってみなかった一大水産振興策として打ち出されようとしております。

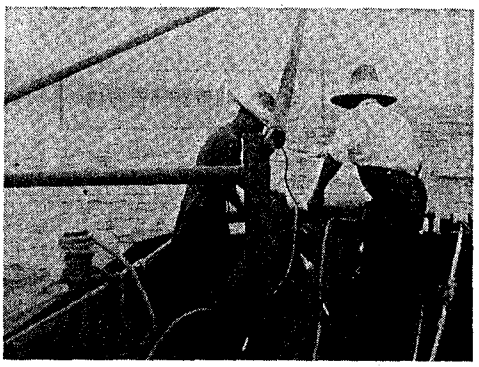
勿物性蛋白質の五〇%以上を水産物から摂取している我が国民食生活の上に、食糧供給の安定に大きく寄与されている沿岸漁業にとって、まことにもっともな施策といえましょう。

しかし、一方産業開発、人口の増大等に伴う漁場環境の変化は、我々水産界にとって憂慮される面が多々あることも見逃すことはできません。

しかし、これらに対応しながら、我々はあくまでも前向きに進まねばなりません。「漁業という立場」の認識をひろめるとともに、毎日明るく愉快に生産にはげまれるよう努力を続けなければならないと思います。

私もこれらを踏えて、水産を離れていた時のブランクを一日も早く取り戻し、業界の皆様方の御期待に応えるべく一生懸命頑張りますので、よろしく御協力、御鞭撻をお願いして就任の御挨拶と致します。

▽　▽

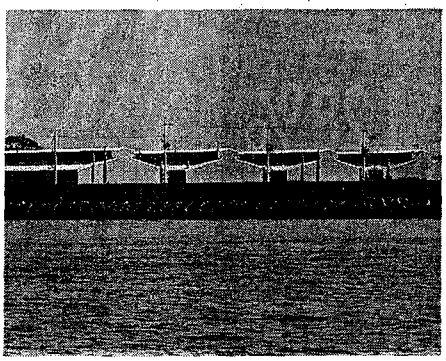


揚網中の板びき漁業

豊かで活力のある漁村づくり

漁港課長　児島和美

このたび、四月の異動により漁港課長を拝命いたしました。私浅学菲才の身ではありますが、二代目の漁港課長として、誠心誠意頑張って行きたい所存でございます。



林崎漁協のり加工場

着任前は、南但馬の八鹿土木事務所に勤務しておりましたが、ここは海のない所ですが、但馬の玄関口として関係者のご指導をえまして大変勉強になりました。久方振りに海の仕事をやることになりました私にとりまして水を得た魚の感じがして胸が一杯です。

現在、我が国の水産業界を取りまく諸情勢は、オイルショック以来の低成長の経済問題及び二〇〇海理水域設定の問題を主因としてまことに厳しいものがあります。これに対処して我国水産業の発展を図り国民に水産物を安定供給することは国家的使命でありますがこのため、県では沿岸及び沖合漁業の経営の安定向上を図り、生産を高めるため沿岸漁場の整備開発と栽培漁業とを組合せた資源培養型漁業の推進と漁業生産基盤の整備を2本の柱として水産行政を進めておりますが、今後とも強力にこれが推進に努めてまいりたいと痛感いたしております。次に、漁港整備については、目下第6次漁港整備計画に基づいて行われておりますが、その3年目を迎える五十四年度は期間内完全達成を目標に効率的に実施してまいります。

また、漁港海岸の保全については、民生の安定の見地から重要であり、緊急度を考慮しながら取り組みたいと思います。

引続き五十四年度から新沿岸漁業構造改善事業が、よそおいを新たにして発足することになり、漁業の合理化及び近代化の促進による生産性の向上と漁業経営の安定を図るほか、漁村の環境整備に一層の力を注ぎ豊かで活力のある漁村づくりに努めてまいりたいと存じております。

どうか伝統のある兵庫県の水産行政をけがさないよう努力し、漁港行政の一層の推進に向って微力ではありますが尽力する覚悟でございますので、今後とも皆様方の暖い御指導と御鞭撻をよろしくお願い申し上げる次第でございます。

水産業の振興へ

兵庫県企画部次長　福井源治

新緑の美しい候となりましたが、漁村の皆々様にはますますお元気のことと存じます。

さて私こと、このたびの人事異動で企画部次長を命ぜられ、水産課を離れることとなりました。

顧みますと、まだ戦争の傷跡の残っておりました昭和二十五年四月に兵庫県に奉職し、当時の経済部水産課に勤務して以来、水産行政一筋にまいりました。この二十九年間をふりかえってみますと数々のことが思い出されますが、どの思い出をとりましても痛感いたしますことは、いたらぬ私によせられました皆々様の温い御厚情によって、私が育てられてきたことでございます。心から感謝申し上げ厚く御礼申し上げる次第でございます。

企画部は、県勢の振興について企画し、調整し、方針を策定する部門であります。水産業の振興も重要な課題でありますので、水産課を離れましたものの水産と縁が切れたわけではありません。私の後任の小黒課長は御紹介するまでもなく、水産は勿論のこと農林水産行政全般にわたってのベテランの方であります。私も水産人の一員として小黒課長との連携のもとに、兵庫県水産業の振興に微力をつくし、少しでもお役に立ちたいと存じております。

職場は変りましたが、今後とも皆々様の御支援と御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

水産関係人事異動（四月一日付）

（水産課）
▽部参事兼水産課長　小黒　武（姫路農林事務所長）▽課参事（漁場開発担当）田寺伸彦（副課長）▽副課長　浅井威夫（洲本農林事務所副所長）▽副課長　山林輝之介（瀬戸内海海区漁業調整委員会事務局長）▽課長補佐兼漁政係長　山本昭（漁船係長）▽課長補佐兼普及係長　杉本幹夫（漁港課長補佐兼漁村整備係長）▽課長補佐兼普及係長　満尾伸洋（課長補佐兼漁政係長）▽主査　本下堯敏（漁港課主査）

（漁港課）
▽漁港課長　児島和美（八鹿土木事務所長）▽副課長　吉安一之（都市整備課副課長）▽課長補佐兼計画係長　河野　清（姫路港管理事務所工務一課長）▽主査　外山公望（水産課主査）▽技術吏員　小林延行（洲本土木事務所技術吏員）

（県立水産試験場）
▽次長　野島繁（神戸土地改良事務所管理課長）

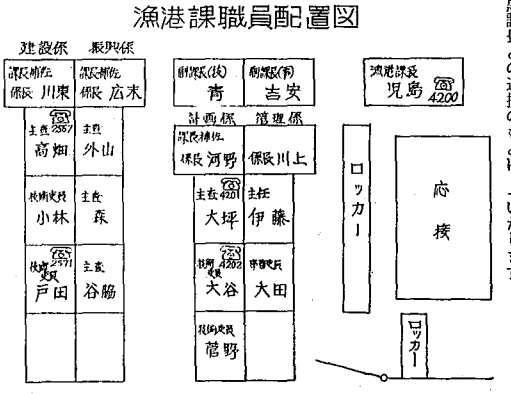
（瀬戸内海海区漁業調整委員会）
▽事務局長　沢田虔（水産課長補佐兼普及係長）

（転出）
▽企画部次長　福井源治（参事兼水産課長）▽港湾課長　高鍋令二（漁港課長）▽農林水産総務課副課長　橋本嘉睦（水産課副課長）▽民生部援護課副課長　笹谷薫（漁港課副課長）

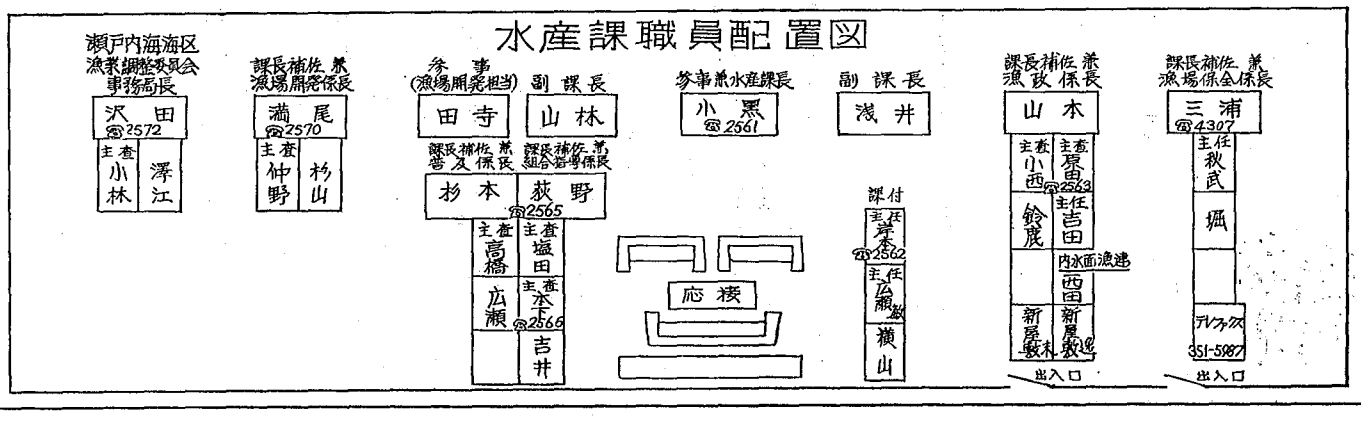
（退職）
▽門垣富士夫（県立水産試験場次長）

（系統団体は次号掲載）

漁港課職員配置図



水産課職員配置図



船員災害の減少めざして

昭和五十四年度船員災害防止実施計画

運輸省においては第三次船員災害防止基本計画に基づき昭和五十四年度における船員災害防止実施計画をこの程関係先に対し通達されました。これによる死傷、疾病の減少目標は漁船においては前年度より九%、3%を夫々定められておりますので本計画の趣旨をご理解の上関係漁業者に対して周知徹底されると共に、この計画に基づき災害防止活動を円滑に展開し実効を挙げられるようよろしくお願いいたします。

昭和五十四年度船員災害防止実施計画

第三次船員災害防止基本計画に定められた船員災害防止の減少目標及び対策の基本方針にのっとり昭和五十四年度船員災害防止実施計画を次のとおり定める。

一、船員災害の減少目標

昭和五十四年度の船員災害の減少目標を死傷及び疾病に区分して次のとおり設定する。

㈠ 死傷

船員災害としての死傷の発生率を年間千人率において、前年度より約七%減少させる。この場合における船種別の減少目標は、別表のとおりとする。

㈡ 疾病

船員災害としての疾病の発生率を年間千人率において、前年度より約三%減少させる。この場合における船種別の減少目標は、別表のとおりとする。

（別表）

区分／船種	死傷	疾病
汽船	約6%	約3%
漁船	約9%	約3%
合計	約7%	約3%

重点を置くべき船舶及び船員災害の種類

各船主に共通する災害については転倒、墜落等の作業行動災害に重点を置く。

主要な対策

㈠ 船内環境の安全衛生化

。手すり、ネット、すべり止め、歩み、板等の整備改善を図る。

。スリップウェイ、魚とり込みげん門等の開口部からの転落防止のための措置を図る。

。積荷、船具等の整理整頓、通路、床面の整備改善を図る。

。船外通行場所付近の夜間照明の整備改善を図る。

。検知器具、保護具等の備置管理と使用励行を図る。

。安全衛生デーの周知徹底を図る。

㈡ 作業の安全化

。作業用救命胴衣の着用の励行を図る。

。作業用救命胴衣の開発、改良の促進を図る。

。船員災害防止規程の周知徹底を図るとともに、船主別または地域別団体等により作業方法、作業手順の標準化を図る。

。作業前点検及び作業前打合わせ（スタンバイ、ミーティング）の普及を図る。

㈢ 安全衛生管理体制

。企業内または企業団体内に安全衛生管理委員会を設置し、その活用を図る。

。船内安全衛生委員会の設置を促進し、企業内または企業団体内安全衛生管理委員会と連携しつつその活用を図る。

㈣ 安全衛生教育

。危険物積載船の船員に対し、貨物の性質、取扱等に関する基礎的教育を実施するとともに、安全担当者に対する教育を徹底する。

。小型船等におけるプロパンガス取扱いに関する教育を実施する。

。漁船安全担当者に対し、教育をする。

。災害多発事業者に対する安全教育の充実を図る。

㈤ 健康管理

。船内食生活の改善を図るとともに、食料の調理、貯蔵の衛生状態を良好に保つための措置を図る。

。飲用水について定期的な水質検査及び残留塩素の検査の実施、タンクの洗浄等管理の適正化を図るとともに、不適格船について積極的な改善措置を図る。

。長期出漁船員について、出航前健康検査の充実、船内の健康管理の改善等健康管理対策の推進を図る。

。船内に備えつける医療書、洋上診療等海上医療体制の充実を図る。

。一定の作業に従事する船員の腰痛及び難聴の発症状況について検討を行う。

。船員の体力を増進し、健康な精神を保持するための体育活動、レクリエーション活動の実施、船内のコミュニケーションの円滑化等必要な措置を図る。

飲料水の定期検査

八十八料理

⑩ **意志の反映**

今年はこのまま暖冬で、すんなり春がくるかのように思われたが、やはり、もどり寒波の春寒。

奈良のお水取がすまねば、ほんとの春が来ないのかも知れない。

○

島の椿が蕾隠れに、赤いネオンを点じたように開花する。

そんな山路を浅春の風になぶられながら、一人歩くのが好きで、昼休みの一ト時、思い立っては散策する。

○

今年は、水揚される魚介類が少ないので心もとない。

はやくのぼり鯛や、鰆の大群が、この瀬戸を北上し、市場に活気があふれ、たまさか歓声が上がる日が、待ちどおしい。

○

それにつけても或る日、藪椿の灯

○

島の椿が蕾隠れに、赤いネオンを点じたように開花する。

そんな山路を浅春の風になぶられながら、一人歩くのが好きで、昼休みの一ト時、思い立っては散策する。

○

今年は、水揚される魚介類が少ないので心もと

嵐の夜や、吹雪の日に努力して漁獲した漁民の生産物が、その生産に消費された財貨や、用役数量、いわゆる原価を度外視され占有者の権利に一顧だもくれず、漁民の手からはなれたところで、権利者たる漁民の意志が全く無視されて、仲買人のおもわく一つで、評価され、価格形成されている。

……と。

○

生鮮食糧品であるが故に、特殊な構成で取引せざるをえないのだといってしまえばそれまでだが、何とも腑に落ちぬ。

さりながら現状の商行為を、手のひらかえすように是正する訳にも参らない。

○

そこで、高級魚に比べ、価上りのしない底びきの雑漁は、漁民みづからの手で、消費者の好みに合わせて加工し、漁民の意志も若干加味された価格で、取引すべきでなかろうかと考えられる。

好漁場をひかえたこの漁村に、簡易な加工場の建設が待たれるゆえんだ。

島の山路で考えた真昼の早春夢だろうか。

どんなもんだろう？

ゆらぎよれん　山上

（54・2・28）

兵庫県青年洋上大学

—募集案内—

1. **テーマ**　「こころ」
2. **目的**

「兵庫県青年洋上大学」は、地域、職場、青少年団体における各種青少年活動、仲間づくり活動を活発にするための動機づけとリーダーを養成することを目的とする。

第9回は、中華人民共和国を訪問し、4つの近代化をめざし奮闘する中国を見学し、交歓を通して相互の信頼を深めるとともに、広い国際的視野を広め国際協力の精神をかん養する。

また、研修および規律ある団体生活のなかから、自立と連帯の精神を学び、新しいふるさとづくりの担い手としての自覚と責任を高め、実践的態度を身につける。

3. **実施機関**

主催　兵庫県

主管　兵庫県青年洋上大学実行委員会

4. **期間**

昭和54年8月26日（日）から9月9日（日）までの15日間

5. **訪問国**

中華人民共和国（北京、天津、上海、南京の各市）

6. **使用船**

コーラル・プリンセス号（英国籍1万t）

7. **応募資格**

「兵庫県青年洋上大学」の学生に応募する者は、次の条件を満たす者でなければならない。ただし、国または、地方公共団体が主催する、海外研修に参加したものは応募することができない。

（詳しくは兵庫県漁連指導部まで）

〈系統団体の動き〉　3月

一日　農林水産祭、漁協推進連絡協議会
二日　専務参事会、内海漁保理事会
三日　第四回わかめ共販日
五日　第九回のり入札日、漁業再建整備計画推進委員会
六日　購買推進委員会
七日　瀬戸内海環境保全連絡会設立総会
八日　兵庫県合成洗剤対策委員会
九日　第五回わかめ共販日
一〇日　県漁連役員会
一二日　神戸市のり品評会
一四日　第一〇回のり入札日
一五日　淡路のり品評会
一六日　第六回わかめ共販日
一七日　摂播地区漁青連研修会
一九日　但馬漁保役員会、但馬海区漁調委
二三日　第七回わかめ共販日
二五日　第一一回のり入札日
二六日　内海漁業調整委員会
二七日　共済役員会
公害基金理事会
二八日　漁協整備委員会、信漁連理事会
三〇日　第八回わかめ共販日

一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！
船用主機ヤンマーディーゼル
〈内海底曳用〉
3EH15
（定格15馬力／1440回転）
●船舶主機用3.0～2400馬力●
●船舶補機用3.5～3600馬力●
ヤンマーディーゼル
●詳しいカタログをお送りします（本社営伝部）まで。
ヤンマーディーゼル株式会社
（本社）大阪市北区茶屋町1番32号（〒530）TEL（06）372－1111（代）
（支社）東京（営団）札幌・名古屋・大阪・高松・広島・福岡（営業所）松台

オーツボ式
全自動海苔
製造機
ダイオート
東日本総代理店
アイサン工業株式会社
愛知県西尾市寺津町二丁目26番地　☎05635—9—7181

のびるライセンス取得者

特殊無線技士（無線電話甲）合格者

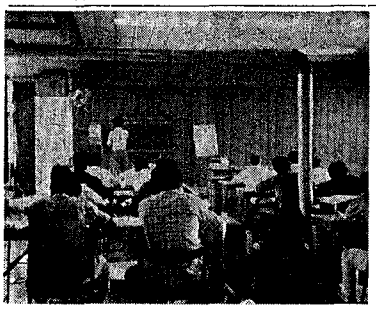
昭和五十三年十二月より昭和五十四年二月までの間県下各地において日本電波協会近畿支部より講師を招いて開催の結果、受講者全員の合格を見各その資格を取得した。開催月日、場所、合格者氏名次のとおり。

①昭和五十三年十二月十四日より二十三日まで但馬漁業センター及び香住町漁協（香住町漁協）

大津敏満、岡本孝次、斉藤ゑみ子、中西淳、真野暁秋、増田正秀（以上津居山港）榎本勇、小林政晴、小駒居孝一、駒居昌典、林恒夫、小林武男、坂本鉄雄、坂本敬之輔、瀬崎三郎、沼田実、土生田梢、平坂義明、増田美代司、万戸茂治、山田床四、与田栄次、若林丈二、若狭義安喜（以上竹野浜）東光好、秋田正夫、今西徹之助、今西和敏、岩本光良、大西重一、寺川俊介、福井清、堀部敏行、堀部俊二、柳本繁清、神田潔、木村徳、谷口晴、和田郷雄（以上柴山港）

②昭和五十三年十一月十一日より二十二日まで丸山漁協にて開催

③昭和五十四年一月十一日より二十日まで阿那賀漁協にて開催



中尾節治、中尾孝司、中尾幸、小嶋正幸（以上湊漁協）

④昭和五十四年二月七日より十六日まで室津漁協にて開催）

⑤昭和五十四年二月二十三日より二十六日まで但馬漁業センターにて開催（レーダー）

漁協生活の序幕（1）

開講式の日には総勢三十二名が顔を揃えた。但馬からは私の他香住漁協から津田誠一（戦死）諸寄漁協から坂本安一（病没）川東三治（現存）の三君が参加していた。淡路の仮屋からはまだ小学校高等科在学中の少年数名が、紺がすりの着物姿で参加した。現在県漁連副会長の森吉一君、仮屋漁協の幹部役員中来田実君、武内為一君など現在三名の中二十才を越える者七名高等小学校卒業予定者二十一名この中間年令層四名という構成であった。当時の記憶をたどると、教官に当ったのは運用航海術は五十嵐技師、服部技手、海洋学は内橋技手……あまりにも有名な内橋潔先生……水産製造学金井技手、養殖学斉藤技手、漁船機関永島技手（県水産庁水産係）漁業の免許、許可清水主事（県水産庁水産係）それに修身には由之内という県立明石中学校の校長が一週間一回担当した。助教には試験場助手の木村、堀田、本多氏等が当った。場長は菅沼九一という千葉県出身の人で金縁眼鏡にチョビひげという当時の典型的紳士スタイルの人であった。これ等教官助教の方々ではっきり現存を確認しているのは内橋博士と本多紀男氏の二人だけで他の方々の中斎藤、永島清水各氏がすでに故人であることは知っているが他の方々の存否は残念ではあるがつまびらかにしない。読者の中でご存じの方があれば知らせていただきたいものである。教官連はいづれも講習生の三分の二が高等小学校卒業予定者であるところから、講義の程度をグンと落されたので内容は良くわかった。私にとってはこの講習が水産学に対する開眼であった。どの講義も面白かった。特に内橋博士は、海洋学をそっちのけして、考古学の蘊蓄をかたむけ、米の語源など講話されたことを今日なお忘れずにいる。壮観だったのは、試験場の正門の外が港の入口である関係で内海で普及し了ったばかりの電気着火式機関の威勢の良い音を響かせて多くの小型漁船が出入する朝夕の光景、一時間置きに明石、淡路間を往来する連絡船の当時としては先端を行くディーゼル機関のリズム、短声長声様々の気笛の音、およそものの静かな但馬の各漁港とは対照的な躍動する港の風景であった。勝手気儘に鳴り渡ると思った気笛は、海上衝突予防法に規定された吹鳴であることも、習ったばかりの運用航海術の知識のおかげで区分することができた。

日曜毎に、その頃国鉄明石駅よりも水試に近かった町中の駅から山陽電車に乗り兵庫の終点で市電に乗換え今の税関通りの東側一帯が葺合区磯辺通りと言った頃その街に事務所を構える実父のもとに通い、次第共々新開地の盛り場を歩いたものであった。私の靴があまりにも粗末であることを哀れに思ったか夜店の靴屋で一円五十銭の編上靴を買って呉れた実父の愛情も忘れることのできない一コマである。（つづく）

漁協一代（その七）

作花英治

小型船舶操縦士合格者

昭和五十三年十二月より三月までの間に開催された各級小型船舶操縦士養成施設の修了試験に合格資格取得された方々は次のとおりである。

①昭和五十三年十二月三日より八日まで神戸市漁協にて四級小型船舶操縦士養成施設開催

福田正美、青木光義、中村義昭、尻池巌、松下幸良、（以上神戸市）糸谷雅雄、宗和義光、湯本康弘、湯本定男、山川稔、藤秀満、長谷川悟、壷井五郎（以上兵庫）武田長治（播磨町）上垣内保、大西秀勝（以上別府町）大西直蔵（東明石浦）南明政博、高橋仁三男西田亀三夫（以上東二見）

②昭和五十四年一月十九日より二十六日まで室津漁協にて二級小型船舶操縦士養成施設開催

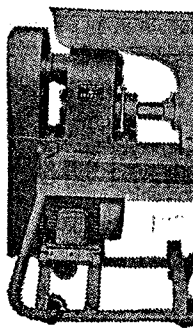
本多恵一、福谷秋夫、福谷章二、揖保辰蔵、半田輝雄吉村満行、戸田貞夫、大川岩一、内海彰一、吉田謙二三木勝、小嶋栄治郎、小嶋武男、三木敏明、山口秀信大沢正勝、津田克俊、中橋英信、小嶋善次、吉田政義松岡好隆、岡田純一、西本年勝、山下政治、西本勝巳三木安秀（全員室津）

③昭和五十四年二月十七日より二十日まで岩屋ポートビルにて四級小型船舶操縦士養成施設開催嶋本一男、丹野公二、西田民尾、神前芳伴、原田豊和、中野博小松恭二、丹野喜代松、西田玉一、吉田證平、大平菊之助、中野房松、橋本繁次山崎和美、山崎忠良、山崎孝生、杉本暁、杉本重文、西谷正義、吉田謙二、原寛之、中野直、長野龍次、丸谷三次、今井襟、中西悦蔵谷秋夫、冨士川定吉、細野弥生、桝本亮平、吉村正信、山本タマ子（以上室津）尾上雅治、鎌島宏文、成林繁（以上坂越）鳥越淳次（以上赤穂）

④昭和五十四年二月二十三日より二十六日まで但馬漁業センターにて開催（レーダー）

船谷信一郎、柳谷勝馬、中西与志雄、岡本孝次（以上津居山）小林政養、榎本勇瀬崎豊、小林武男、後藤昌良二（以上浜坂町）長野至宏、小濃満、小野維西田福松、丹野弘、樽井正剛、長野典幸、原照治、谷口龍司、谷口肇、恵見一則浜岡重一、真尾幸夫、滝川保、西田久志、西岡満、地行耕作（以上岩屋）井筒直一、東根恵次、東根寛、前川巳代松、竹中政次、仲田繁、仲田亨、小松長三郎、戎雅利（以上岩屋共栄）新阜周次（浦）

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで

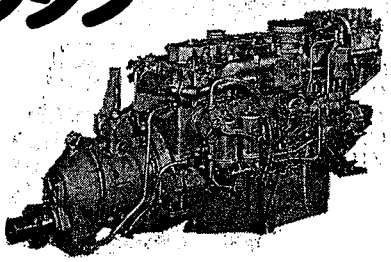


養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。
又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通5番5号 TEL 代表神戸(078) 921-1527

いすゞ マリンエンジン　高速への挑戦！
UM06BBIB



特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社　〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL(078)811-1171(代)